

平成29年度文京区アカデミー推進協議会第2回分科会(観光・国際交流)概要記録

日 時	平成29年6月21日(水) 18:30~20:30
会 場	文京シビックセンター21階 2104会議室
出 席 委 員	座長 久松 佳彰 (東洋大学教授) 荒木 時雄 佃 吉一 町田 菊男
欠 席 委 員	白井 圭子
事 務 局	鈴木観光・国際担当課長 横山オリンピック・パラリンピック推進担当課長 小野寺観光担当主査 増田国際交流担当主査
資 料	次第・文京区アカデミー推進協議会分科会別名簿・事業パンフレット
(議事) 1 開 会	(1)進め方について (2)最終的なまとめ方について (3)概要説明 (4)まとめ
2 アカデミー推進 計画の観光・国際 交流分野における 平成28年度の事業 実施状況の点検及 び評価について	(1) 国際交流について概要説明、まとめをした後に、観光について方向性を話し合 い、まとめを行う。 (2) 最終的なまとめ方の方向性 ○【取組状況の評価】では、具体的な事業名を1つ又は2つ入れて、評価(アピール) する。付箋のまとめを見て、事業を評価しているものをピックアップする ○【課題と今後の対応・方向】については、第1回分科会概要記録をみて、意見をピ ックアップする。 ○久松先生と事務局とで最終的なまとめ ○(総括)事業を数多くやっていて評価できる反面、情報が行き届いていない区民及 び区外の人への観光に課題がある。 (3) 概要説明 ・姉妹都市交流30周年記念事業区民ツアーについて、参加者は区民21名と公式訪 問団5名。区民ツアーという形で開催したのは初めて。 ・姉妹都市が広く周知されていない。 ・カイザーセラウテルンと言われても、イメージがわきづらい。 ・英語圏との交流があった方がいいのではないかという区民の声がある。 ・文京区内で英語、韓国語、中国語の次に増えている言語はベトナム語。 そこに着手するかどうかはまだ議論が尽くされていない。 ・在日外国人の国籍内訳が変わってきているので、そのことに対する対策を今の段階 から考えておくことが必要。 ・国際交流フェスタの参加者は日本人の方が多い。会場規模により、これ以上来場人 数を増やすことは難しい。日数も増やすことは難しい。 ・国際交流5-1は基本的には区民の方に国際交流を理解していただく方向性(Ex,国 際交流フェスタ、サッカー大会) ・5-2は区民としての外国人の方に快適に過ごしていただく方向性。 ・昼間区民(外国人留学生等)を考慮に入れるか入れないか。

- ・昼間区民の問題は観光で対応するのはどうか。
- ・外国語を話せる人を増やす方向とIT機器に頼るという方向の2方向で進めている。
- ・五大まつりには外国人来場者も多く、実行委員会によっては学生ボランティアが外国語案内ブースを設けるなどしてサポートしてもらうこともある。
- ・日本人が海外に行ったときに、正しく日本のことを伝えていくという視点から、日本人が改めて日本の文化を認識して、発信していくことも大切。また、そういう方たちを育てていくことが大切。
- ・IT講座(文京区内で撮った写真を使って、いいねを押してもらう練習)

(4)まとめ

【4-1 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出】

○取組状況の評価

- ・(341)新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業

若い層などの違う層に働きかけるのはいい。

- ・観光事業を数多く実施していて良いが、区外の人に対する観光施策に課題がある。

→近隣自治体へのPR活動や掘り起こしで体験型ツアーの実施。

○課題と今後の対応・方向

- ・(339)観光ボランティアガイド事業 近隣自治体へのPR活動がいい。

近隣の公民館・役所にネットワークがあると、もっと来てくれる人が増えるのではないかな。

- ・体験型ツアーの開発が面白いと思う反面、文京区の雰囲気合うのかが疑問。

- ・袴を着てもらい、区内散策、食事をするような体験型ツアーは、文京区に合うのではないかな。

(議事録よりピックアップ)→今後の方向性として利用する

- ・3、訪日外国人は右肩上がりが増えていますが、まだまだお金を使ってもらえる文京区にはなっていない。→観光資源の発掘

- ・32、スクラップ&ビルド

新しいものを作るときには何かを統合、あるいはやめないと仕事が増える一方。

- ・25、試験的にお茶とまちあるきのセットのツアーを外国人に向けてSNSで発信している。→体験型のツアーになればよい。

【4-2】情報の収集・活用による来訪の促進

○取組状況の評価

- ・(360)熊本だけでなく、津和野町・盛岡市等いろいろな自治体と交流事業があるところが良い。

- ・(374)英語観光ボランティア

- ・区民をターゲットにしているが、観光担当には観光ボランティアなど設備・知識・人材が揃っているのに、観光担当で一元管理したほうがいいのではないかな。

→他の日本語観光ボランティアとの交流はあるので、その交流を強めていく。

○課題と今後の対応・方向(概要記録よりピックアップ)

- ・18、スマホの普及で、お金をかけなくても情報発信が可能

	<ul style="list-style-type: none"> ・6、情報発信で苦勞している。 ・国内交流→HP、SNS等による情報発信 (総括) ・事業を数多く実施しているが、方向付けを明確にし、統合と集中を考えていくべき。 <p>【4-3 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり】</p> <p>○取組状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応は町の雰囲気があるので良い。 ・新江戸川公園の話 (国内交流事業の話をもっと4-1の内容が多ければ4-3に盛り込む) ・将来に何を残していきたいのかを考えていくといい。 ・メリハリをつけるとしたら訪日外国人に力を入れる。 <p>○課題と今後の対応・方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集 <p>対象が区民だが、それを越えて訪日外国人対応、区外の人への対応を強化、東京オリンピック・パラリンピックを見据えて方向性を考えていくべき。</p> <p>【全体の総括】 (観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区外の日本人、外国人に対してもう少し強める。 (国際交流) ・まず、区民、子どもから国際交流をより促進。教育も含めて。 区在住の外国人に快適に過ごしてもらおう。 昼間区民である外国人に対して、どう対応していくのかの準備が必要。 外国人の構成が非漢字圏に変わってきているのでその変化への対応が必要。
3 次回の予定	